2026年（令和8年）3月30日　月曜日　第873号（毎週1回発行）

【あて先変更のご連絡先】
フリーダイヤルFAX.0120-72-7249
info@amusement-japan.co.jp

パチンコ・パチスロ業界最新情報
週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
2026年（令和8年）3月30日 月曜日

編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-23-14 EBISU T・Sビル4F　TEL.03-5447-0555　https://www.amusement-japan.co.jp

Weekly Amusement Japan
©2026 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing
Amusement Press Japan
本紙記事の無断転載を禁じます。

週刊アミューズメントジャパンは
月曜日Webアップ！
PDFでもご覧いただけます
アミューズメントジャパン　検索

今週の紙面から

リゾートホテル事業に挑む
パシフィックゴルフマネージメント
田中耕太郎 代表取締役社長　4面

遊びやすさを軸に業界再興へ
豊丸産業×タツミコーポレーション
永野光容社長×李煥辰社長　4面

健全化推進機構
4月から遵守の確認へ
広告宣伝ガイドラインなど

遊技産業健全化推進機構は4月1日から、各種ガイドラインの遵守状況の確認（以下「ガイドライン遵守確認」という。）を始める。パチンコ・パチスロ産業21世紀会の要望に基づくもの。機構に誓約書を提出しているホールを対象に行われる。機構は必要に応じて、確認結果を行政や21世紀会に提供する。

各種ガイドラインは、21世紀会が遊技産業の健全化のために定めたものを指す。現状ではホール関係4団体が制定した「広告宣伝ガイドライン」、「パチンコ・パチスロ店営業における貯玉・再プレーシステムに関するガイドライン」、「パチンコ・パチスロ店営業における賞品の提供方法に関するガイドライン」が該当する。

ガイドライン遵守確認は従来の遊技機・計数機検査と併せて行われる場合もあれば、単独で行われることもある。ガイドライン遵守確認は店長などの立ち合い者を伴って行われ、チェック表（別記様式第301号）に基づいて実施される。検査員が店内の掲示ポスターやディスプレイを撮影することもある。

チェック表の冒頭には、「なぜ、ガイドラインを遵守しなければならないのか」という聞き取り項目が盛り込まれている。店長不在時に立ち合い者となったホール従業員が、自分の言葉で回答できるか。店舗責任者は、全従業員にガイドラインの趣旨を改めて理解させておく必要がある。

検査では各種ガイドラインを備え付けているか、従業員が容易に閲覧できる状態にあるかなどを確認する。特に広告宣伝では、是正勧告集も備え付けの確認対象。たびたび改訂されているため、第4集、第5集など、最新のものを揃えたい。

検査員によるヒアリング項目には、是正勧告を受けた有無も含まれる。受けていない場合には遵守するために注意していることは何か、受けている場合には当時の違反内容や再発防止策などが求められる。是正勧告を複数回受けている場合には、より踏み込んだ内容を確認される。

チェック表は機構のホームページで公開されているため、リハーサルしておくことも一案だ。検査員によるヒアリングや要所の確認が終わると、チェック表にサインを求められる。それに筆記して終了確認書を受け取れば確認終了だ。

誓約書は形骸にあらず

各種のガイドラインは、ホール営業の自由度を広げた。中でも2023年2月に制定された広告宣伝ガイドライン（第1版）の功績は大きい。広告宣伝に関しては現在までに第3版（25年5月）まで改訂され、Q&Aは第2版（同）まで発出されている。

一方で是正勧告は、第5集（同年10月）まで重ねられた。警察庁は行政講話でたびたび、「ガイドラインの趣旨を十分に理解していないと思われる事例が見られる」「複数回是正勧告を受けるホールが現れている」と指摘。健全化に向けた取り組みを推進するよう要請している。

4月1日から始まる機構検査員のガイドライン遵守確認は、こうした事態を苦々しく思う21世紀会の想いが透けて見える。これまでも是正勧告を繰り返すホールが現れるたびに、ため息を漏らしたに違いない。

ホール営業者が機構に提出する誓約書の第9項には、「ガイドラインに賛同し、これを遵守」することが謳われている。誓約書提出ホールから、重大な非遵守や立入拒否が現れることは言語道断だ。

誓約書提出ホールは26年2月28日現在、6401店舗を数える（廃業連絡していない店舗を含む）。

サミー 川越工場
モノづくりの魅力発信
展示と体験会でPR

思い出に残る缶バッジづくり

サミーは8日、埼玉県の川越市産業観光館「小江戸蔵里」で、市内に拠点を構える川越工場のPRイベントを実施した。広場に設営された展示ブースと体験ブースは、観光で立ち寄ったファミリー層らでにぎわった。

『スマスロ 甲鉄城のカバネリ 海門（うなと）決戦』と『e甲鉄城のカバネリ2 咲かせや燦然』のデモ機が目を引く展示ブースでは、遊技機が生産される工程を映像とパネルで紹介。マシンによる自動くぎ打ち映像は物珍しいようで、多くの人がモニター前で足を止めた。くぎ打ちで制作したアート作品も注目を集めた。

体験ブースでは、参加者が缶バッジづくりに挑戦した。パーツやデザイン紙をプレス機にセットして手動で圧縮させると、直径56ミリの円形缶バッジが出来上がり。ものづくりの醍醐味を手軽に味わった。デザイン紙の絵柄は、サミーのパチスロ機で使用されたリール図柄。全12種の中から好みの一つを選べた。

川越市の公式マスコットキャラクター「ときも」を図柄やパネルにあしらった"ご当地仕様"の絵合わせゲーム機や、P-SPORTS専用機の「超ディスクアップHYPER」、スマートボールも人気だった。

新生活応援に124万円
ABC

協議会の石川会長の隣で感謝状を掲げる冨田社長（中央右）

静岡、山梨、長野、愛知でホール33店舗を展開するABC（静岡市）は、静岡県児童養護施設協議会に124万円を寄付した。贈呈式が11日、静岡県総合社会福祉会館シズウエル（同市）で行われた。

寄付金は同協議会を通じて、県内の児童養護施設を退所し、4月から新生活を始める児童に贈られる。想定される使途は家電や寝具、スーツなどの購入。一人当たり4万円が11施設31人の退所者に給付される。

冨田和宏社長は「これからの経験は必ず皆さんの力になります。若さを強みに、無限に広がる未来の可能性に挑戦してください。これからの人生が、希望に満ちたものになることを願います」とあいさつ。石川順会長に目録を手渡すと、感謝状を贈られた。

ABCによる応援は今回で7回目。寄付総額は2020年の開始以来、776万円に上る。

キッチンカー協会と協定締結
岡山県遊協

岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合は10日、岡山県キッチンカー協会との間で災害時におけるキッチンカーの活動拠点としてパチンコ店駐車場を提供する協定を締結した。

この協定は、県下で大規模災害が発生した際に、同組合加入のホール駐車場を岡山県キッチンカー協会傘下のキッチンカーに対し場所提供を行い、迅速に被災者へ温かい食事を提供することを目的としたもの。

当日は岡山県遊技会館で協定締結式が行われ、岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合の千原行喜理事長と一般社団法人岡山県キッチンカー協会の水谷勝代表理事が協定書を交わした。

3600人の頂点決まる
マルハン東日本

グランプリの喜びを表す武澤さん

マルハン東日本カンパニーは2月27日、『マルハンメガシティ三島駿東』（静岡県）で従業員の接遇力を審査する社内コンテスト大会を開催。管内の1都9県100店舗に勤める3600人から選抜された21人が最終審査に臨んだ。

今大会で重視した審査基準は、遊技客の心に触れる「記憶に残る瞬間の創出」。一人ひとりの状況に合わせた接遇に焦点を当て、遊技客を思う心を自分らしく体現できているかが評価のカギとなった。

審査員には自社の接遇スペシャリストに加えて、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルの橋本喜則・人事総務部部長やサニーテーブルの眞田雅之・取締役兼青山店店長、SPARKS NE TWORKの中村恵美社長らを交えた。

審査の結果、『マルハンメガシティ市原』（千葉県）の武澤紗稀さんがグランプリに輝いた。過去にも上位入賞を果たしている武澤さんは、上位7人以内に累計3回入賞した者に贈られる称号「マルハンサービスグランプリレジェンズ」に認定された。

韓裕社長は、「審査員の皆さまから高く評価されたファイナリストが、さらなる高みを目指して自らのスタイルを確立しようと、挑み続けている。その姿を改めて実感しました。当社は利益追求だけでなく、社会に必要とされる企業を目指す。業界をけん引する覚悟を胸に、チャレンジする」とコメントした。

防犯訓練を実施
善都

さすまたを使用した訓練の様子

「ZENT」の屋号で愛知、岐阜を中心にホールを展開する善都（愛知県豊田市）は4日、『ZENT市ノ坪店』（岐阜県岐阜市）で防犯講習会と防犯訓練を実施した。

これは非常時における防犯意識の向上、実践的な防犯対処の習得を目的としたもの。岐阜中警察署から講師3人を招き、同社からは岐阜エリア各店舗の代表者10人、市ノ坪店の店舗スタッフと警備スタッフ21人の計31人が参加した。

訓練は昨今の犯罪事例を基に実施。昨年から各エリアで行われた同内容の講習会・訓練は今回で4回目となり、全店舗で受講が終了した。

ホール企業も常連に
健康経営優良法人

経済産業省と日本健康会議は9日、健康経営優良法人2026を発表した。今年度の認定数は大規模法人部門が3765法人で、中小規模法人部門が2万3085法人。それぞれ前年比で11・4%、16・4%増加した。

大規模法人部門で認定された遊技業界の法人はマルハンやダイナムなど。マルハンは20年以来3度目の認定。同社は「マルハン健康宣言」を掲げ、健康診断結果と勤怠データの連動やメンタルヘルスケア体制の強化、スポーツエールカンパニーにも認定された運動習慣支援などが主に評価された。

ダイナムは昨年に続き2度目の認定。

これまで推進してきた労働環境の整備や健康に関するさまざまな取り組みに加え、産業保健師によるサポート体制の強化、健康コラムの定例配信や健康アプリを使用した食生活・運動改善による従業員の健康意識改革などにも取り組んだ。

中小規模法人部門では、宮城県内でホール5店舗を展開するマルタマ（仙台市）が5年連続5回目の認定を受けた。同社は健康診断受診率が100%であることや健康アプリ導入による健康意識の向上、有給取得率を開示し十分に休めないメンバーに声をかける仕組みなども整えている。また女性ならではの身体の不調やメンタル不調者に対するサポートやその後の対応なども評価された。

APJ X Buzzランキング

1. 業界初"スペック変異システム"発表　2月9日　430,000pt
2. キング観光にアズールレーン新パネル導入　1月15日　190,000pt
3. サミー×「シャンフロ」コラボイベント開催へ　2月10日　170,000pt
4. エナドリに「ゴッドエナジー」降臨
5. インバウンド需要に応えた「エヴァはじまりの記憶」
6. 期間限定「ハルルナ」&「戦国乙女」ショップ
7. 仙台に「にゃんまるカフェ」登場
8. MR体験でアサルトリリィの世界観を
9. トラっぴ完全再現のぱちどーる
10. 大好評の「ジャグラーアクリルスタンド」

※当社が公式Xで発信した情報の閲覧数を基に算出　※期間：前回分から3月12日まで

誰もが憧れる2つの名門コース

沖縄の風、波、感動を巡る極上のラウンドをご提供

ザ・サザンリンクスゴルフクラブ

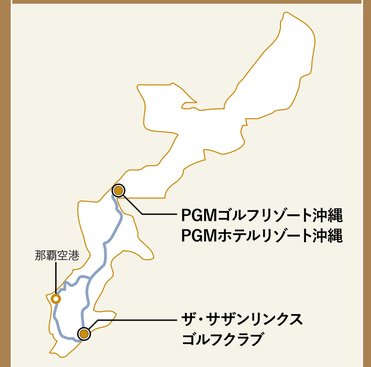
「ザ・リンクス」。コバルトブルーに輝く海・突きぬける青い空・鮮やかな緑が織りなす唯一無二のシーサイドコース。

PGMゴルフリゾート沖縄

青木功プロが改造監修を手掛けた、ターコイズブルーに輝く東シナ海を見下ろす丘陵地にあるコース。

2026年4月25日～9月30日 開業記念期間限定 GOLF&STAYプランのご案内

MAP



那覇空港 ⇔ PGMゴルフリゾート沖縄間　：車で50分
那覇空港 ⇔ ザ・サザンリンクスゴルフクラブ間：車で30分
PGMゴルフリゾート沖縄 ⇔ ザ・サザンリンクスゴルフクラブ間：車で55分

パック内容	プレー日が平日のみ	プレー日が平日＋土日祝	プレー日が土日祝のみ
ステイ&プレープラン <1泊朝食付・1プレー>	¥38,800（税込）		¥48,800（税込）
ラグジュアリープラン <2泊2朝食付・2プレー・送迎付>	¥73,800（税込）	¥87,600（税込）	¥93,800（税込）

ご滞在・プレー施設について

- ゴルフ場：ザ・サザンリンクスゴルフクラブ、PGMゴルフリゾート沖縄
- 宿泊：PGMホテルリゾート沖縄　●客室タイプ：デラックスツイン

ご案内

- 表示料金は2名様1室利用時の1名様料金です（税・サービス料込、朝食込）
  ※1名様1室利用の場合は、別途¥10,000を頂戴いたします（税・サービス料込）
- ゴルフプレーは1組4名様・セルフ・スループレーとなります（1組3名以下の場合は割増あり）
- 送迎は、ホテル～ゴルフ場間の往復送迎となります（ラグジュアリープランのみ/要予約/台数に限りがございます）

ご予約・お問い合わせ

☎ 098-960-4150（PGMホテルリゾート沖縄・代表）　✉ pgm-hro.roomrsv@pacificgolf.co.jp（予約課）

お問い合わせは『開業記念期間限定 GOLF&STAYプランを見た』とお申し付けください。

PGM®　ホテル公式HPはこちら　https://www.pgmhotelresort-okinawa.jp/　PGMホテルリゾート沖縄　〒904-0413 沖縄県国頭郡恩納村字冨着1390

PGM HOTEL RESORT OKINAWA

PGMホテルリゾート沖縄

2026年7月3日 GRAND OPEN

静なる贅も、動なる贅も。

PGM・ACCORDIA GOLFだからできる贅沢なリゾート体験プランのご案内

ROOM

恩納村の静寂に抱かれる、上質な時の扉

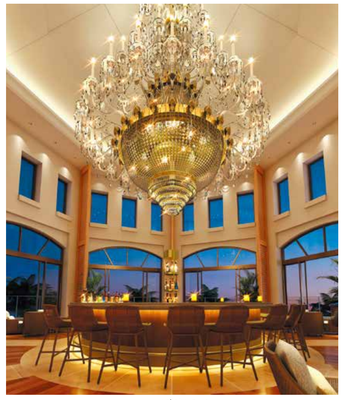
デラックスツイン

シグネチャーツイン

エントランスロビー

RESTAURANT & BAR

静寂と美食のリゾートダイニング


シャンデリアバー

SEAMEN'S（鉄板焼き）

あぐーしゃぶしゃぶ まつもと

銀座 鮨かねさか

ACTIVITY

心躍る体験と深いリトリートが紡ぐ至福の時間

インドアプール

リラクゼーション

ガーデンプール

TOP INTERVIEW

「リゾートホテル事業に挑む」

『PGMホテルリゾート沖縄』が開業へ

パシフィックゴルフマネージメント
田中耕太郎 代表取締役社長

平和のグループ企業でゴルフ場運営大手のパシフィックゴルフマネージメント（以下、PGM）。同社が沖縄県恩納村に建設していた『PGMホテルリゾート沖縄』が今年7月にグランドオープンする。オープンを前にした田中耕太郎社長に、ゴルフ市場の現状とリゾートホテル事業への抱負を聞いた。（文中敬称略）

――昨年1月に平和が国内最大手のアコーディア・ゴルフ（以下、アコーディア）を子会社化し、PGMとアコーディア合わせた平和グループが所有する国内のゴルフ場が321コースになりました。統合後にはどんな効果が生まれていますか。

田中　PGMもアコーディアも、これまではそれぞれの経営方針でゴルフ場を運営してきました。そのため、この1年間は統合によるシナジー効果やスケールメリットをどう出していくかを議論してきました。その結果を受けて、今年の4月から具体的にいろんな形で新しい施策がスタートしていくという段階です。

――PGMが運営するゴルフ場は、コースやクラブハウスが改修されて、とても快適になりました。

田中　建物やコースは放っておけば老朽化していくので、常に設備投資が必要です。しかし国内の当社グループ以外のゴルフ場を見ると、そうした設備投資がなかなかできないゴルフ場が多いことも事実です。当社は平和が親会社になってから課題となっていた部分への投資ができるようになりました。これは大きな強みになっています。今後はPGMとアコーディアでお互いの足りないところを補い合って、さらに快適なプレイ環境を構築してまいりますのでご期待ください。

――最近ではゴルフ人口が増えたと言われています。経営側としてどう受け止めていますか。

田中　ゴルフ人口が増えたことは実感しています。特にコロナ禍以降は若年層と女性が増えてきていますね。これはゴルフ業界にとって良い状況です。一方で日本のゴルファーは60歳以上が半数を占めていて、実際の年齢別の人口構成比よりかなり高齢者率が高く、これから中長期的に年配の方がゴルフからリタイヤしていきます。これがいまゴルフ業界が抱える大きな課題で、今後に対しては危機感を持っています。

――そのような状況下で、PGMではジュニアゴルファーの育成にも力を入れていますね。

田中　ジュニアゴルファーの育成は、ゴルフ業界全体のために当然必要なことであると感じております。当社では、ジュニアゴルファー育成財団からの助成金なども活用し、これからもジュニアゴルファーの育成に注力してまいります。

――一方で、「GRAND PGM」ブランドを作るなど、ターゲットに合わせてゴルフが楽しめる場を提供しています。

田中　ゴルフをプレイする人の目的は千差万別。競技志向のゴルファーもいれば、仲間と気軽に楽しみたいという人、大切な人と時間を共有したい人など、本当に人それぞれなんです。平和グループが所有するゴルフ場は全国に321コースあり、それぞれに特性があります。だからこそ、お客様の目的に合ったコースでゴルフを楽しめる機会をご提供することが大切だと思っています。

――そうした中で今年、満を持して『PGMホテルリゾート沖縄』を開業されますが、その狙いや背景について教えてください。

田中　ここ数年、リゾート地としての沖縄の価値が一層高くなってきたことが背景にあります。特に最近では円安の影響もあり、外国人観光客が増加しています。那覇空港も拡張されました。こうした状況の中で、ハレクラニやハイアットなど外資系の新しいリゾートホテルがどんどん進出してきているわけです。

――競争も厳しそうですね。

田中　インバウンドの需要が急速に高まる一方で、沖縄本島にはこれまで、ホテルとゴルフ場がセットになっている施設がありませんでした。そこで恩納村にある、当社が所有する『PGMゴルフリゾート沖縄』の隣接地にリゾートホテルを作る計画を立てたのです。沖縄県内のホテルの客室稼働率は平均70%。ビジネスとして十分に成り立つという判断で、当社として初のリゾートホテル事業に挑戦することを決めました。

――『PGMホテルリゾート沖縄』のコンセプトを教えてください。

田中　沖縄本島屈指の景勝地である恩納村に位置する全201室のラグジュアリーホテルです。ゴルファーはもちろん、沖縄の自然や文化を楽しみたい方々にもご満足いただけるよう、客室、ダイニング、プール、スパ施設に至るまで細部にこだわって設計しました。

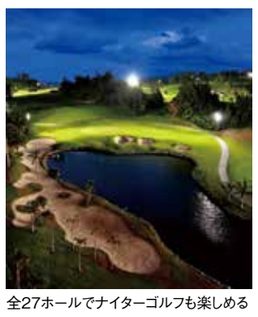
――隣接する『PGMゴルフリゾート沖縄』はどんなコースですか。

田中　全27ホールのすべてから海が見えるゴルフ場です。コース設計は青木功プロに監修していただき、これまでに男子プロのトーナメントを3回開催した実績があります。全27ホールにナイター設備を設けているので、夏でも快適にゴルフが楽しめます。

――『PGMホテルリゾート沖縄』は4月25日から先行営業開始ということですが、最後に抱負を聞かせてください。

田中　沖縄という土地での事業展開は、私たちにとって特別な意味を持ちます。私たちは『PGMホテルリゾート沖縄』の開業を機に、地域の皆様との共生を大切にし、雇用の創出や観光振興を通じて沖縄の自然、文化、人の魅力を多くの方々に伝える場となることを目指していきます。『PGMホテルリゾート沖縄』では皆様のかけがえのない滞在時間に素晴らしい体験をお届けできるよう、スタッフ一同、誠心誠意取り組んでまいりますので、どうぞご期待ください。

ゴルフ場に隣接するリゾートホテル『PGMホテルリゾート沖縄』（イメージ）



全27ホールでナイターゴルフも楽しめる

PGMスイート（イメージ）

TOP INTERVIEW

遊びやすさを軸に業界再興へ

豊丸産業とタツミコーポレーションが『超甘LT』でアライアンス

豊丸産業
永野光容 代表取締役社長
Nagano Mitsuyoshi

タツミコーポレーション
李煥辰 代表取締役社長
Lee Kanshin

遊技人口の減少に歯止めをかけたい遊技業界。これ以上のファン離れは業界の存続に関わるという危機感は誰もが抱いているはずだ。この課題解決に向けた一手として、パチンコメーカーの豊丸産業と『ミクちゃんガイア&アリーナ』の屋号で関西を中心にホール16店舗を展開するタツミコーポレーションが長期的な視点でアライアンスを締結した。両社のトップにその思いを聞いた。（文中敬称略）

――今日は豊丸産業とタツミコーポレーションとの間で結ばれたアライアンスについてお聞きします。はじめに豊丸産業が昨年から打ち出している『超甘LT』について改めて教えてください。

永野　当社では2025年5月に発売した『P江頭2：50inナナシー奇跡の99%』を皮切りに、『超甘LT』という新しいジャンルに挑戦し、今年2月までに『超甘LT』シリーズを4機種販売してきました。その背景には、現在のパチンコ市場がこのままでいいのかという危機感がありました。パチンコ業界は遊技人口の減少に比例するように、パチンコの開発が高玉単価・高射幸の遊技機に偏ってきています。ではそうした流れに対して我々が提供できる価値は何か。そこを突き詰めた結果として打ち出したのが『超甘LT』です。パチンコ初心者の方や久しぶりに遊技される方、あるいは高射幸の機種に疲れたプレイヤーの皆さまが気軽に遊べる遊技機を提供することが必要で、まずはメーカーとして行動に移す必要があると考えました。

李　日本の人口動態を見れば今後も高齢化率が高まり、プレイヤーも高齢化していきます。何より深刻なのはパチンコホールの減少です。これらの課題を総合的に考えると、業界の将来に対して強い危機感を持たざるを得ません。そうした中で今回、永野社長から『超甘LT』におけるアライアンスの提案をいただきました。当社も射幸性に頼らないプライベートブランドのパチスロ機である推しスロの開発にチャレンジするなど、豊丸さんと同じ思い持っていました。『超甘LT』はその延長線上にあるパチンコと理解していましたので、『ミクちゃんガイア&アリーナ』へのパチンコのテコ入れを図る構想が具体化し、実行に至りました。

永野　以前からタツミコーポレーション様に『超甘LT』のコーナー化の推進をご提案してまいりました。その後『超甘LT』から次のステージである『遊moerLT』への展開を準備していたところで李社長にお会いして考え方が見事に一致。お力添えをお願いする運びとなったのです。このタイミングでの協業は本当に幸運だったと感じています。

――今回のアライアンスにおける具体的な施策を教えてください。

永野　2月から1年間かけてタツミコーポレーション様が運営する『ミクちゃんガイア&アリーナ』の全16店舗で実施するイベントを、『トヨマルカップ』として応援させていただきます。全店に「超甘LT」シリーズを設置していただき、各店舗様では独自のSNS発信や店舗内でのオペレーションを駆使され、弊社ではHPを通じて応援させていただくことで、より多くの方々に本取り組みを知ってもらうことが第一の目標です。

李　「トヨマルカップ」に参加し、多くのプレイヤーが『超甘LT』シリーズの遊技を通じてパチンコの本当の面白さを再認識していただくことで、「パチンコをやってみたい」「パチンコにまた行きたい」と思っていただけるようなお考えを持っていただき、当社の店舗だけでなく業界全体の盛り上がりの一助になればと考えています。

永野　『超甘LT』シリーズは初当たりも早く、LT機能を備えたことで適度な射幸性も兼ね備えています。高玉単価や高射幸性に疲れた方、少しの間パチンコから離れていた方、そして初めてパチンコを始める方にとって非常に始めやすいパチンコです。当社の遊技機を『ミクちゃんガイア&アリーナ』でご遊技いただき、そこに笑顔が生まれることが我々の最大の望みなのです。

李　ありがとうございます（笑）。私もトヨマルカップをひとつのきっかけにして、各店舗のパチンコをもう一度活性化させたい。そんな想いを強く持っています。実は2027年1月で弊社は創立39周年を迎えます。個人的にも『ミクちゃんガイア&アリーナ』としても「39」という数字は非常に特別な意味を持ちます。その時点で、16店舗全てが「行ってみたい、また行きたい」というプレイヤーの皆様の心をつかむお店になっていることが我々の大きな目標です。

永野　当社は6月導入予定の新機種から『超甘LT』をよりステージアップさせ、『遊moreLT』シリーズとしてリリースしていきます。何度も大当りが体感でき、遊びやすさと適度な射幸性を備えた「超甘LT」の良さを継承しながら、『遊moreLT』では遊技ジャンルやゲーム性の自由度を拡大し創意工夫を盛り込むことで、「これが本物のパチンコだ！」と呼べる製品を提供してまいります。タツミコーポレーション様をはじめ、多くのホール法人様に導入してみたいと感じていただける製品になると確信していますので、ぜひご期待ください。

NEW PRODUCT & SERVICE INFORMATION　新製品&サービス

「ぱちキャラ!カタログ Vol.66」
人気コンテンツやメーカーコラボグッズを掲載

日本最大級のパチキャラ景品を取り扱うECサイト「ぱちキャラ!オンライン」を運営する大宏が最新の景品カタログを発行。人気コンテンツから最新機種まで、メーカーとタイアップしたオリジナルグッズを数多く取り揃えた。今回は「ミリオンゴッド」シリーズから大人気のパチキャラエナドリシリーズ「ゴッドエナジー」や「ぱちどーる」など、ホールの注目を集める景品がこの一冊に。カタログはECサイトから無料で請求・ダウンロードが可能だ。

景品選定に困らない最新カタログ

問い合わせ
ぱちキャラ！オンライン/大宏　TEL.03-3973-0522　www.taikonet.co.jp

「ゴッドエナジー」
人気のエナドリシリーズに「GOD」が仲間入り

累計で約100万本を売り上げている人気のエナドリシリーズから、「ゴッドエナジー」が登場。本格派のエナジードリンクで、遊技中やリフレッシュしたいときなどに最適だ。発送は4月を予定しており、4月中旬に導入予定の新機種『ミリオンゴッド-神々の軌跡-』に合わせて準備できる。さらに販売記念キャンペーンでは、2ロット以上の購入で『GOD箱』をプレゼント。ディスプレイや店内装飾として使用できるアイテムも一緒にゲットしたい。

キャンペーンでは『GOD箱』をプレゼント

人気商品から「ゴッドエナジー」が登場
©UNIVERSAL ENTERTAINMENT

問い合わせ
ぱちキャラ！オンライン/大宏　TEL.03-3973-0522　www.taikonet.co.jp

アミューズメントホール向けタイルカーペットの専門ブランド
ライフクが提案する「見て選べる改装プラン」

ホールの魅力を高める空間づくりを、主体的に進められる点が特長だ。タイルカーペットの選定にはARシミュレーションを導入し、改装後のイメージを事前に具体化。色合いやデザイン、ゾーニングによる印象の変化を確認できるため、完成形を共有したうえで判断できる。プラン確定後は、素材の提案から施工までワンストップで対応。無駄な工程を省き、コストと工期のバランスを図りながら、効果的な改装を実現する。4月には新たに5種類のデザインをラインアップに加える。

問い合わせ
株式会社ライフク　TEL.03-6820-4032　lifecu.co.jp/